東証スタンダード市場・福証 証券コード: 6998

決算補足説明資料

2024年3月期(2023年度)第1四半期決算概要

2023年8月10日



4 目次



2024年3月期(2023年度)第1四半期業績概要

- 1. 当社のターゲット市場と事業セグメント
- 2. 今回発表のポイント
- 3. 連結業績の概要
- 4. 主な経営指標
- 5. セグメント別の状況
- 6. 財務の状況(連結)
- 7. 今後の見通し

参考資料

1. 業績の推移(連結)

2024年3月期(2023年度) 第1四半期 業績概要



■ 1. 当社のターゲット市場と事業セグメント



4つのターゲット市場にコア技術を生かした製品群を投入。

ターゲット市場	事業セグメント別の注力製品					
	機械部品事業	電機部品事業				
半導体・電子部品市場	ハードディスクドライブ(HDD) 用磁気ヘッド基板 世界 No. 1 シェア(当社調べ)	プラズマ電極				
自動車部品市場	二軸押出機用部材 (コンパウンド混錬機用) 新商品	E Vリレー用接点 抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)				
産業用機器・部品市場	産業用設備向け耐摩耗部材液晶塗付用超硬長尺製品	ブレーカー用電気接点				
衛生用品機器・医療用部品市場	N T ダイカッター 国内 No. 1 シェア(当社調べ) 世界 No. 2 シェア(当社調べ)	医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品				

2. 今回発表のポイント



2024年3月期(2023年度)第1四半期決算の総括

・第1四半期の業績は、連結・個別ともに、対前年同四半期比で減収減益。

経済環境

:ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、各国の金融政策の引き締めによる経済持ち直しの鈍化が懸念される。 •世界経済

•国内経済 :新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済活動が正常化へ向かうなか、為替相場の変動や物価上昇の影響など、先行きは

不透明な状況で推移

ターゲット市場の概況

·産業用機器·部品市場 : 一部の産業用装置において、当第1四半期に納期が集中したこともあり、好調に推移

·半導体·電子部品市場 : 前連結会計年度下半期より、在庫調整による影響が継続

•自動車部品市場 : 自動車牛産が回復する中で、一部で在庫調整が継続していることから、伸び悩む。

•衛牛用品機器•医療用部品市場 :前年同四半期を上回ったものの、顧客の新規設備投資案件が少ない中で低調に推移

今後の見通し

・今後の見诵し :・国内では、サービス業を中心に新型コロナウイルス感染症禍からの経済正常化が継続するものの、製造業では、海外経済での各国の金融 引き締めやエネルギー価格の上昇等の継続による設備投資の伸び悩みにより、先行きは不透明な状況が続く。 ・半導体・電子部品市場や自動車部品市場での在庫調整が継続しており、当面は厳しい需要環境が続くと想定。 ・2024年3月期第2四半期及び通期の業績予想は、上記の状況を踏まえており、当第1四半期の業績は概ね想定どおりに進捗。

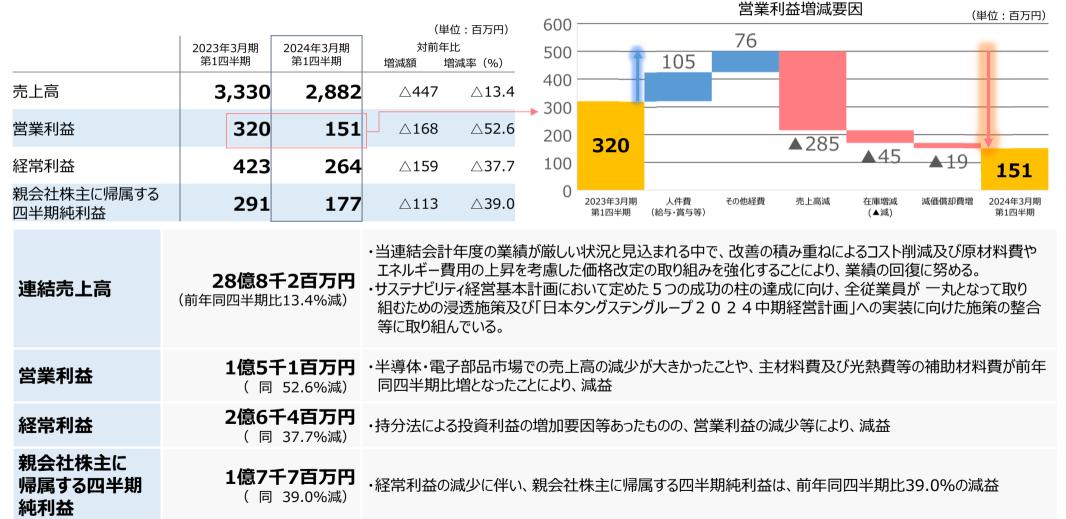
•業績予想 : 2024年3月期第2四半期及び通期の業績予想値(2023年5月19日公表)は連結・個別ともに変更しない。

•配当金予想 : 2024年3月期の配当金予想(2023年5月19日公表)は変更しない。



3. 連結業績の概要





4. 主な経営指標



	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
売上高営業利益率	5.5	1.7	7.3	9.6	5.3
自己資本四半期純利益率(ROE)	1.3	0.8	2.2	2.8	1.6
1株当り四半期純利益	53.16	31.92	90.90	120.91	73.58
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	コロナ禍以前		'		

- ▶ 当第1四半期の業績は、2020年3月期第1四半期レベルで推移。
- ▶ 売上高営業利益率は、5.3%となり、2020年3月期第1四半期並みとなった。
- ➤ 自己資本四半期純利益率 (ROE) は1.6%。
- ▶ 1株当たり四半期純利益は73円58銭。

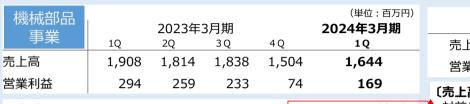
NIPPON TUNGSTEN CO.,LTD. 8

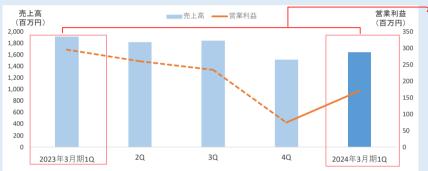
■ 5. セグメント別の状況

■ ヤグメント業績の概要

				•		
		I		(単位:	百万円)	
		2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前4	年比 増減率 (%)	
機械部品事業	売上高	1,908	1,644	△264	△13.9	
IWIWUPUU T A	営業利益	294	169	△125	△42.4	
電機部品事業	売上高	1,425	1,250	△175	△12.3	
电视即归于才	営業利益	160	130	△30	△18.9	
調整額	売上高	△3	△11	△8	_	
	営業利益	△134	△147	△13	_	
全社	売上高	3,330	2,882	△447	△13.4	
工江	営業利益	320	151	△168	△52.6	

機械部品事業、電機部品事業ともに 対前年同四半期比で減収減益





	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
売上構成比	57.3%	56.8%
営業利益率	15.4%	10.3%

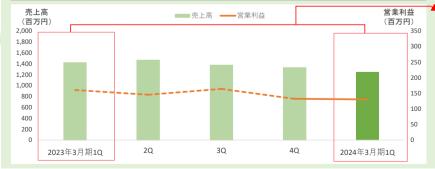
〔売上高〕

▶・対前年同四半期比では、13.9%の減少 ・四半期推移では、前年度第4四半期から、 やや回復

[営業利益]

- ・対前年同四半期比で42.4%の減益
- ・四半期推移では、前年度第4四半期からは 回復し、営業利益は10%台を確保

電機部品 事業		2023年3	3月期		(単位:百万円) 2024年3月期
尹未	1Q	2Q	3 Q	4 Q	1 Q
売上高	1,425	1,468	1,380	1,334	1,250
営業利益	160	145	164	132	130



	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
売上構成比	42.7%	43.2%
営業利益率	11.3%	10.4%

〔売上高〕

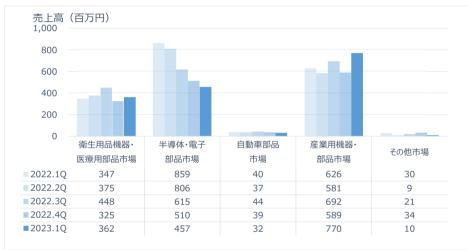
- ・対前年同四半期比では、12.3%の減少
- ・四半期推移では、緩やかな減少傾向

[営業利益]

- ・対前年同四半期比で18.9%の減益
- ・四半期推移では、前年度第4四半期並みの レベルで推移

5. セグメント別の状況

■ ターゲット市場別業績・主要商品の状況







※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

【半導体・電子部品市場】

機械部品事業

情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板 データセンター等で使用される大容量HDDの在庫調整が継続 しており、減収

【産業用機器·部品市場】

塗付工具用として使用される超硬長尺製品

二次電池製造用途において中国市場で安価品が台頭してきたこ とや、液晶ディスプレイ製造用途においても、在庫調整により、減収

二軸混錬押出機用の金属部品

前連結会計年度が特需だったこともあり、減収

一部の産業用装置において、当第1四半期に納期が集中した こともあり、当市場としては増収

【衛生用品機器・医療用部品市場 】

NTダイカッター

国内外共に新規の設備投資案件が伸び悩み、低調に推移 したが、既存顧客の一定の再受注があり、増収

5. セグメント別の状況

電機部品事業







医療関連 カテーテル用 タンク・ステン ワイヤー製品



※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

【自動車部品市場】

E Vリレー用接点

前連結会計年度より続く在庫調整が継続しており、減収

電装部品溶接用の抵抗溶接用電極

自動車生産の回復に伴い増収

【産業用機器·部品市場】

産業用設備向けのブレーカー用電気接点 顧客の在庫積み増し後の調整が継続しており、減収

【衛生用品機器・医療用部品市場】

医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品 在庫調整の影響を受け減収

☑ 6. 財務の状況(連結)



		(単位:百万円)			
	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	対前年比 増減額		
総資産	16,807	17,341	533		
負債	5,556	5,916	360		
純資産	11,251	11,425	173		

主な経営指標	

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期
自己資本比率(%)	66.9	65.8
1株当たり純資産(円)	4,648.25	4,720.39

		主な増加要因 (単位:百万円)		主な減少要因 (単位:百万円)		
総資産 (前連結会計	173億4千1百万円 †年度末比5億3千3百万円増)	現金及び預金 +465 棚卸資産 + 83 投資有価証券 +141		売上債権	△136	
負債	59億1千6百万円 (同3億6千万円増)	流動負債 + 272 固定負債 + 87			_	
純資産	114億2千5百万円 (同1億7千3百万円増)	利益剰余金 その他有価証券評価差額 為替換算調整勘定	+32 (全 +68 +68		_	





・国内では、サービス業を中心に新型コロナウイルス感染症禍からの経済正常化が継続するものの、製造業では、海外経済での各国の 金融引き締めやエネルギー価格の上昇等の継続による設備投資の伸び悩みにより、先行きは不透明な状況が続くと見込まれる。

当社グループの見通し

- •半導体•電子部品市場
- •自動車部品市場

在庫調整が継続しており、当面は厳しい需要環境が続くと想定。

2024年3月期の第2四半期及び通期業績予想

- ・2024年3月期第2四半期及び通期の業績予想は、上記の状況を踏まえており、当第1四半期の業績は概ね想定どおりに進捗
- ・現時点で2023年5月19日に公表した業績予想値及び配当金予想に変更はない。

2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期紅		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 (累計)	5,800 △	12.3	280	△53.6	340	△55.1	260	△49.8	107.51
通期	12,000	△5.1	620	△33.1	750	△38.9	550	△28.3	227.42

配当の状況

	年間配当金								
	第1四 半期末	第2四 半期末	第3四 半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭				
2023年3月期	_	60.00	-	60.00	120.00				
2024年3月期	_								
2024年3月期 (予想)		50.00	_	50.00	100.00				

業績の推移(連結)

1. 業績の推移(連結)



経営成績 (連結)

(単位:百万円)

区分	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
売上高	2,811	2,495	2,883	3,330	2,882
営業利益	154	43	209	320	151
経常利益	205	114	281	423	264
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	77	218	291	177
純資産	9,968	9,966	10,140	10,945	11,425
総資産	16,277	15,744	15,405	17,105	17,341

経営指標(連結)

区分		2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
売上高営業利益率	(%)	5.5	1.7	7.3	9.6	5.3
自己資本比率	(%)	61.1	63.2	65.7	63.9	65.8
1株当たり純資産(BPS)	(円)	4,096.61	4,128.69	4,205.88	4,529.68	4,720.39

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。